

令和5年度 第5回 愛宕小学校 学校運営協議会 実施報告

1 日 時 令和6年1月26日(金) 9:00~11:30

2 場 所 愛宕小学校・南館1階コミュニティ・ルーム

3 挨拶

【委員長】

今年は、能登の地震、飛行機事故と大変な年始めとなった。如何に上手く避難するか、如何に児童生徒が被害に遭わないようにするか。日頃の訓練が実際に遭った時にできるかが求められている。親族が熊本地震で被災しているし、飛行機でこちらと行き来しているので、他人事ではない。非常時にどのように対応するか家族でも話し合っている。今年は十分気をつけて取り組む1年になる。

【校長】

始業式で、地震のことに触れ、被害に遭われた方へ黙祷した。普段の対策をしっかり見直すとともに、日々を大切に過ごすことを子どもたちと教師が確認し合った。飛行機事故はあり得ないことである。これは、思い込みによるヒューマンエラーではないかと、現在原因を調査しているようだが、学校現場でも当てはまる。危機管理意識を持って職務に当たっていくことを職員会議で確認し合った。

4 報告

【行事の紹介】

- 11月21日(火) 授業参観
 - ・人権学習「子どもの権利条約」を通して、お互いを大切にすることを学んだ。
 - ・1・2年生「トラブルへの対応」、3~6年生「情報モラル」の出前授業を受講した。
- 11月22日(水) 4年生公開授業研究
 - ・事前に鈴浄会さんに来ていただき、ゴミの問題について考えた。
- 11月30日(木) マラソン記録会
 - ・参加した全員が無事に完走できた。
- 12月9日(金) 4年生 市音楽会
 - ・合唱「ふるさと」合奏「展覧会の絵」を学校代表として発表した。
- 12月14日(木)~18日(月) なかよし遊び(異学年交流)
 - ・大縄の取組を通して、久しぶりに異学年の子どもたちで触れ合うことができた。
- 12月22日(金) 終業式
 - ・インフルエンザ・コロナの感染状況から、急遽オンライン開催とした。
 - ・6年生の実行委員が人権フォーラムの還流発表を行い、全校に向けて「みんなが安心して過ごすことができるよう、全員がしっかり考えよう」と呼びかけてくれた。

- 1月 9日(火) 始業式(冒頭の校長の挨拶の通り)
- 1月17日(水) 5年生みえスタディチェック
- 1月26日(金) 授業参観(今年度最後)

5 協議(○学校の説明, ☆委員の質問・意見, →質問に対する学校の回答)

(1) 令和5年度の学校経営(学校アンケート, 生活習慣チェックシートの結果より)

○ 「いじめはどんな理由があってもいけないと思いますか」という設問に対して, 児童・保護者ともに高評価を得た。

☆ 高評価ではあるが, 児童も保護者も, 「いじめはどんな理由があってもいけないと思いますか。」という設問に対して, 否定的な回答が0でないことが気になる。

→ 年3回のいじめアンケートや児童の日常的な観察からキャッチし対応している。いじめをなくす取組を継続し, 意識を変えていけるようにしていきたい。

○ 愛宕小のICT教育における実態と課題をふまえて, 授業の質の向上や家庭学習との関連性等を学ぶために, ICT教育先進校の視察に行く。

☆ ICT先進校視察は, 愛宕小学校の教員だけなのか。

→ 他校教員や教育委員会の指導主事も視察予定と聞いている。申込をした学校が各々参加する。

○ 教師や保護者が思っている以上に, 児童の「自己肯定感」が低いという実態がわかった。令和6年度から, 鈴鹿市では, 「非認知能力」に注目し, 学校教育を進めていく方針を出している。愛宕小でも, 就学前健診や教育を語る会を通して, 保護者へ家庭における取組や自己肯定感を高める子育てについて啓発した。

☆ 1年生が地域のボランティアを招いて「昔の遊び」を学んだ。参加した者が, 子どもたちを遊びで褒めることができた。

☆ 親が子に「ダメだね」と言ってしまうと, 学校や地域が褒めても上手くいかない。

☆ 兄弟や他人と比べるものではない。一人ひとりの良さを見つけて褒めることが大切。

→ 1年生の「昔遊び」の取組は, 遊びを通して成長を感じ, 「自己肯定感」を育むこともねらいの一つである。こういった活動の意図も学校だよりで発信していく。

(2) 令和5年度学校関係者評価

○ 昨年度より不登校児童が増えている。大変憂慮している。それらに対応するために校内特別支援委員会を毎週実施し, 情報共有を図り, 対応策を相談している。

☆ 朝の登校時の見守りを続けていると, だんだん子どもの顔を覚えていく。約160名の子どもたちが, 私たちが見守りをしている交差点を通過しているが, 正月明けから何人か顔を見ない子がいるように感じる。子どもたちのことを心配している。

☆ 社会的な状況により不登校が増えているならば, 国レベルから対策が必要だと思う。

☆ 養護が年度途中で交代したが、継続して愛宕小学校に任用されるのか。養護が不登校児童の対応に重要な役割を果たす観点からも、短期間ではなく、ある程度の期間の任用が望ましい。

→ 不登校の理由は様々である。一人ひとりに寄り添いながら支援している。スクールライフサポーターが迎えに行けば登校できる児童もいる。教室にすぐには入れないが、保健室や校長室等に居場所を確保し、徐々に教室に入っていける児童もいる。

→ 養護教諭が2年生生活科の時間に「命の大切さ」について授業を行った。子どもたちの心身の安定に大事な役割を果たしている。

○ 児童アンケートでは、挨拶をしていると回答した割合は高いが、保護者の評価は低い。学校でも、自分から挨拶できる児童は少ないように感じる。

☆ コロナ前は、道で散歩をしていると子どもたちが自分から挨拶してくれた。卒業生も進んで挨拶してくれた。コロナ禍以降、自分から挨拶できる子が減っている。挨拶できる子に偏りがある。

☆ こちらから挨拶をしたら、子どもたちも挨拶をしてくれる。自分から進んで挨拶できる子は少ない。挨拶がだんだんできるようになり、成長を感じる子もいる。

☆ 朝や帰りの挨拶ではなく、「ごめんなさい」「ありがとう」も大事な挨拶。しっかりできるようになってほしい。

→ 挨拶とはどういうものなのか、児童がまだイメージできていないようだ。児童が進んで挨拶できるように学校で取組を進めていく。

○ 児童の読書について、児童一人当たりの貸出冊数が昨年度より増えていることから、読書量は増えている。しかし、保護者の回答を見ると、家庭での読書習慣につながっていないことがわかる。

☆ (評価書でいう) 読書とは、紙媒体だけのものを指すのか。最近では、タブレット端末やスマートフォンを使って、電子ブックで読書をしている人がいると聞いた。

→ 愛宕小学校では、紙媒体の図書を対象に貸出冊数を集計している。学校では、電子ブックの導入はされていない。

○ 児童と保護者のアンケートから見えてきた課題(テレビ・ネット動画・ゲームの時間)に対応するため、3学期に、5・6年生が「メディアバランス」(テレビ、新聞、読書、スマホ等の様々なメディアをバランスよく有効に使えるか)について取組を進める予定である。

☆ 宿題支援教室で学習ボランティアを行っている。以前は、そこで音読の宿題を保護者の代わりに聞いていた。現在は、音読の宿題を行う際、子どもが音読をしている様子を端末で撮影し、オンラインで提出することがあるので、「家で聞いてもらう」という子どもがいる。

☆ 子どもたちは、音読時に自分で端末を準備し、自分の音読の様子を撮影している。撮

影しているので、子どもはいつもより上手に読もうとしている。撮影は効果がある。

☆ 「アサガオの観察」も端末で写真を撮って行っていると聞いた。

→ 音読の動画撮影や観察の写真撮影等、「個別最適な学び」という点では、学校での取組に一定の評価ができる。一方、個ではなく、集団で学び合う「協働的な学び」を授業の中でどう構築していくかが課題である。ICT 先進校の視察の還流を通して今後の取組に活かしたいと考えている。

○ 働き方改革の推進について、時間外労働における年間総時間数は、目標値である 300 時間以内に収まる見込みであるが、昨年度より教職員一人当たりの月別残業時間が増えた。コロナ禍後の学校行事再開に伴う業務、緊急対応等により残業時間の増加につながっていることが考えられる。

☆ 小学校では副担任はいないのか。また、教職員の勤務時間はどうなっているか。始業前も残業と捉えているか。

→ 小学校は副担任の教員が配置されていないが、担任団が連携して学年全体をみることを大事にしている。特に、高学年では、教科担任制が導入されている。受け持った教科の教材研究に専念し、複数の教員目で学年の児童を見守ることができるようになった。

朝は、始業時刻より早めに学校へ来て子どもたちを迎える教員もいる。月によっては、時間外労働時間が月あたり 45 時間以上になった教員もいる。該当の教員と管理職が相談し、原因の特定や業務の平準化の調整を図っている。教員自身のワークライフバランスを整える意識も高めたいと考えている。

4 その他

○評価への協力依頼

学校関係者評価にご記入いただき、2月2日(金)までに提出をお願いしたい。

○令和6年度行事予定(案)

運動会と海岸清掃の日程が調整中である。

○加藤コーディネーターより助言

学校アンケートがよく分析され、わかりやすい。ぜひ今後も活用していただきたい。学校アンケートと評価書を関連番号で繋げて整理するとより分かりやすくなる。評価書に出てくる教育用語の説明も補足して記入するとなお良い。

不登校の話題は、全市的な課題である。鈴鹿市でもしっかり取り組んでいるが、不登校の児童生徒が増加している。市の取組の一つに「ほっとルーム」を開設している。学校だけでなく、学校以外の機関とも連携し、子どもの居場所を確保し、個々の学びを保障していくことが大切である。今後は、この事業を拡大するための予算確保が急務である。

5 連絡

○3 学期の行事予定

1月26日(金)5限 授業参観

- | | |
|--------------------|-------------------------|
| 1月31日(水)・2月1日(木)午後 | 幼稚園・保育園(所)引継ぎ会 |
| 2月2日(金)午後 | 新1年生入学説明会・物品販売 |
| 2月22日(木)9:30 | 学校運営協議会 |
| 2月28日(水)9:30 | 6年生を送る会(学校支援ボランティアさん参観) |
| 3月5日(火)午後 | 学校保健委員会 |
| 3月11日(月) | 防災の日・避難訓練(校舎3階へ避難) |
| 3月19日(火)午前 | 卒業証書授与式 |
| 3月25日(月) | 修了式・離任式 |

○第6回学校運営協議会 2月22日(木)9:30~11:00 会議室

- ・議題：令和5年度 学校関係者評価(最終版)
令和6年度 学校経営の改革方針 等